

令和7年 第12回

仙北市教育委員会定例会会議録

令和7年7月17日

仙北市教育委員会

令和7年 第12回 仙北市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 令和7年7月17日（木） 午後2時00分

2 場 所 西木総合開発センター 2階 集会室

3 出席委員

教育長	須田 喬
教育長職務代理者	坂本 佐穂
委員	橋本 勲
委員	細川 伸也
委員	田口 桂一郎

4 出席した事務局職員

教育部長	阿部 聡
教育次長	斉藤 丈彦
教育総務課長	大石 基
学校適正配置準備室長	若松 正輝
学校適正配置準備室参事	梅田 昌輝
学校教育課長	戸嶋 雅美
北浦教育文化研究所長	武藤 洋史
総合給食センター所長	栗原 由紀子
生涯学習課長補佐	上野 美田子
中央公民館長	佐藤 文恵
田沢湖公民館長	畠山 裕子
角館公民館長	千代 雅和
市民会館長兼田沢湖図書館長	信田 昌史
学習資料館・イベント交流館長	伊藤 香
平福記念美術館長	小松 亜希子

5 議事

(1) 議案審議

議案第14号 令和7年度仙北市一般会計補正予算の教育費について

(2) 報告事項

報告第29号 就学指定校変更の承認について

6 審議の経過及び結果

(須田教育長)

ただいまから、令和7年第12回仙北市教育委員会定例会を開催いたします。

それでは、本定例会の出席委員、職員を紹介します。

－出席委員、職員を紹介－

会議書記には、齋藤課長補佐を任命します。署名員は、私と委員から橋本委員を指名します。前回の会議録の承認についてですが、定例会については細川委員、会議が終わり次第、署名をいただきます。

教育長挨拶ということで、今日は、私の方から2点報告させていただきます。1点目が、学校訪問を行っての感想です。教育長就任以来、継続して先生方をお願いしていることが、開かれた学級、学びの集団の構築です。自分が神代中学校、美郷中学校の校長として経験したなかで、学級や学ぶ集団の人間関係が解放されているクラスとそうでないクラスでは生徒の満足度や学級学校への帰属意識に大きな差がアンケートから認識できました。更に、それが学習の成績にも大きく影響していました。当然、生徒一人ひとりには苦手な教科もあれば、得意な教科もあります。そのなかで、「私は、僕はここが分からない。苦手だ。教えてください」と言えるクラスと「分からない。できない」と言えないクラスでは、雰囲気が大きく違います。人間関係が解放されているクラスでは、分からないことが恥ではないのです。逆に、それが言えないクラスでは、分かったふりをする、分からないのに声をあげず、そのまま次の単元に向かってしまうという悪循環になってしまいます。また、できる得意な子どもが自分の意見を述べたり、苦手な子に教えない、助けない状況になります。解放されているクラスは、後期の成績が大きく伸びる傾向にありました。今、仙北市は言語活動の充実を通して、基礎学力はもちろん、思考力や表現力、判断力を養うことを市をあげて取り組んでいます。その一歩が何でも話せる学習環境の構築です。今回、多くの学級で子ども同士の、先生との関係が開かれたものになっており、その成果が表れてきている感じがしました。このことについては、継続して取り組むよう校長先生方に訴え続けていきます。これが、必ず不登校の減少、学校の満足度につながり、明日も行きたくなる学校につながると信じています。

2点目が、わらび座の観劇「秋田は何もない」についてです。市長からの提案で、今回市内の5、6年生と中学生をわらび座に招待することが決まり、6月の補正で予算計上し、めでたく可決いただきました。神代中学校、西明寺中学校が観劇を終え、感想文を記していますので、何件か紹介します。

僕は将来、ちょっとだけ秋田県や仙北市から出て行って、他の県でいろいろなことを学んでから地元に戻って、地域の力になれるような仕事などをしようと考えています。毎年、人口減少が問題になって仙北市だけじゃなく秋田県も未来にまで残せるように、ニュースや新聞などを毎日見て、そのことについて今まで以上に詳しく学んでいきたいと思いました。僕は、秋田県や仙北市の力になれるように努力していきます。

この劇は地元がテーマだと観劇して思いました。私は将来のことについて、あまり考えていませんが、今回観劇した劇や企業説明会に参加させてもらって、もっと将来のこと、仙北市を関連付けて考えることが出来ているので、将来、自分も地元仙北市に住むのもありかなと考えました。

僕は大人になったら今までは県外へ出て行こうと思っていたけど、観劇した後に考えてみたら、のどかで米が美味しくて、優しい人がいっぱいいる仙北市は、僕にぴったりです。まだはっきりは分からないけど、将来は仙北市で地元のためになる職業につきたいです。というような感想でありました。

この活動もヤマメ・サクラマスプロジェクトの一環事業です。今回、特に中学2年生の感想が素晴らしかったのですが、それは、5月29日の企業説明会やパネルディスカッションの体験と重なったからです。特に、一度は仙北市から離れるが必ず戻ってくると答えた

生徒が相当数いました。パネルディスカッションの最後の講評で、坂本委員が「いつでも戻っていらっしゃい、私たちは待っているから」と話したことが、よほど子どもたちには印象深かったのだと思いました。このような活動を継続して行うことで、「ヤマメ」「サクラマス」人間が増えていくと思います。以上2点報告でした。

次に教育長報告についてです。

－資料にて説明－

それでは、審議案件に入ります。議案審議、議案第14号令和7年度仙北市一般会計補正予算の教育費についてお願いします。

(上野生涯学習課長補佐)

議案綴の2ページをご覧ください。生涯学習課の補正予算について説明いたします。10款5項7目、勤労青少年ホーム費です。外ノ山テニスコート外灯改修工事として、262万3,000円を計上しております。こちらについてですが、外ノ山テニスコートに設置している照明の水銀灯が経年劣化によりショートし、現在応急処置にて稼働中ですが、いつまた故障してもおかしくない状態であり、加えて水銀灯は製造が終了しているため、予備電球もなく、交換もできないことからLED照明への切替工事費を計上しているものです。以上です。

(千代角館公民館長)

同じく補正予算について、3ページをご覧ください。角館公民館の歳出になります。10款5項8目、管理運営費です。こちらは備品購入費になります。これは小野崎家の武道館に併設しております弓道場内の緑地、主に芝生の景観維持管理のための芝刈機を購入する経費を計上するものとなっております。説明は以上です。

(須田教育長)

ご質問等ありますか。よろしいでしょうか。

－質問なし－

議案第14号は承認とします。

次に、報告第29号就学指定校変更の承認についてお願いします。

(戸嶋学校教育課長)

報告第29号就学指定校変更の承認についてです。先に申請のあった就学指定校変更1件について、仙北市教育委員会として承認することとしたので報告いたします。

－資料により説明－

報告は以上となります。

(須田教育長)

報告第29号について何かご質問ありますか。

－質問なし－

では、その他に入ります。いじめ、不登校対策についてお願いします。

(武藤北浦教育文化研究所長)

6月のいじめ、不登校の状況について報告いたします。

最初にいじめについてです。6月は小学校6件、中学校4件、計10件でした。

次に、6月の不登校児童生徒についてですが、小学生4名、中学生24名、計28名となっております。

6月はスペース・イオの活用が2名、さくら教室活用が0名でした。また、角館中学校校内教育支援センターの活用は2名です。

以上が、6月のいじめ、不登校の状況になります。

(須田教育長)

ご質問ありますか。よろしいでしょうか。

それでは、教育委員会定例会会議録のホームページ公開についてお願いします。

(大石教育総務課長)

別冊の令和7年第10回定例会会議録をご覧ください。

－資料にて説明－

誤字脱字等ありましたら私の方まで教えていただきますようお願いいたします。

(須田教育長)

次に、学校適正配置準備室からの報告についてお願いします。

(若松学校適正配置準備室長)

学校適正配置準備室からは、6月から7月にかけて行った意見交換、それからアンケートの報告と、今後予定している意見交換の日程について報告させていただきます。

お手元の資料の大きい紙の1ページ目が「中学校統合の組合せ及び時期に関する校長及び教頭意見」というものです。これは市内小中学校の校長先生、教頭先生、計20名の方から、意見を寄せていただいたものです。内容については、一つ目は、中学校統合の組合せについてです。4校統合と3校統合のパターンの案になっていきますけれども、それぞれの案に対するご意見です。メリットとしての意見を各区分毎に整理したものです。詳しくはご覧のとおりになりますが、全体として見ますと、4校統合のメリットが非常に多いという、ほとんどの先生からそのような意見がありました。

統合の時期についてですけれども、こちらは11年度統合の方が、よりメリットがあるというご意見でした。様々なご意見いただいたわけですが、集約しますとこのような形に整理されます。これから行われる統合にあたっての要望等もいただきまして、これは中程の要望等に記載しております。統合準備は非常にボリュームがあるということで、職員体制を強化してほしいということ。また統合校の事務職員は兼務ではなくて、各校に配置してほしいといったご意見がありました。

裏の2ページ目になります。7月に教職員向けのアンケートを実施しました。これについては、梅田の方から説明いたします。

(梅田学校適正配置準備室参事)

全部で142名の教職員の方々からご回答いただきました。一つ目の質問の生保内中の再編について、生保内中単独で存続、4校で統合のどちらが望ましいかという質問に対しては99名、69.7%の先生方が4校統合。41名、28.9%の方々が生保内単独が望ましいという回答となりました。自由意見については、主なものを多い順に記載しております。学校規模が大きくなることによる学習面、学校行事、部活動及び人間関係等における教育効果の向上や指導体制等に期待する意見が多くありました。

二つ目の質問の統合の時期について、令和10年と11年、どちらが望ましいでしょうか。という質問に対しては、105名、74.0%の方々が11年度。31名、21.8%の方々が10年度という結果となりました。小学校と一緒に統合する場合、1年目は仮校舎となるため、移転が続き環境が落ち着かないこと、また小中同時統合の慌ただしさに加え、仮校舎整備に様々なコストがかかるなど、不安やデメリットを指摘する意見が多くありました。いずれの意見も実際に教育現場に携わっている先生方ならではの意見が多くて、計画の策定に活かせるのではと感じました。

結果の報告については、以上です。

(若松学校適正配置準備室長)

続きまして、3ページです。7月2日から14日にかけて、市内の園・小・中保護者との意見交換を行いました。内容については、先に行った保護者アンケート結果の報告と、

それを踏まえた今後の進め方についてのこちらからの説明に対して、意見をいただきました。各会場で行われた日時、会場、出席者数については左ページのとおりとなります。主な意見の内容ですが、右のページです。主立ったものは特に意見が多いというわけではありませんでしたが、このような意見がありました。生保内地域では、こちらに意見を記載している方は、だしのこ園の保護者の方で、参加は、お一人でしたけれども、その方と約1時間くらい、いろいろな深い話をいたしました。「生保内から学校がなくなって、他の公共施設も次々に無くなっていくことを心配している」と。「生保内地域の子育て環境の魅力が薄れて人口減少が加速し、地域が衰退していくことがとても心配だ。」というご意見。そして、「均衡あるまちの発展をどのように進めていこうとしているのか、市全体の将来ビジョンを示して欲しい。統合してからの検討では遅いので、計画が決まったらすぐに着手して欲しい。」というようなご意見でした。その他、掲載のとおりとなっております。

それから最後ですけれども4ページ。今後の予定している意見交換会です。今月30日に市内小中学校の教職員の方、各学校から数名ずつ参加しまして、21名で開催予定です。内容ですけれども、次第の2ですが、まず私どもから春の保護者アンケートの結果と、この度実施した教職員アンケートの結果を説明し、そして3番の意見交換のところで、中学校統合の組合せ、中学校統合の時期について、小中学校の統合に向けたご意見・要望等を伺いたいと思っております。以上です。

(須田教育長)

これについては、感想等ご意見をいただければと思います。お願いします。

(田口委員)

中学校統合の組合せ及び時期についてのアンケートの結果ですけれども、短時間に非常にきめ細かなアンケート、あるいは集約作業、お疲れさまでした。また丁寧なまとめ方で、非常に分かりやすく読みやすく拝見させていただきました。感想ですけれども、先程の説明にもありましたが、校長先生、教頭先生の意見、あるいは教職員からの統合のメリット等については、やはり教職員ならではの、学校現場の中からの具体的なメリットが示されて、内容濃く分かりやすくなっていると思います。これまでも、統合のメリット、デメリットについては、様々な資料の中で、保護者向けの資料の中で触れてきたわけですが、更に具体的に統合の様々な視点からのメリットというものが、ここで具体的に挙げられているので、今後、保護者の説明に、教職員の現場からの意見という形で何かしら報告の際には、統合のメリットについて、こうした形で教職員から具体的に挙がっていますということで、かなり参考になるのではないかなという印象を受けました。

また、教職員からの142名の結果ですけれども、割合はもっと統合に向けた舵を切った結果が多いのかなと予想していましたが、7割という先生方が統合ということで、やはり多くの先生方が、今後の児童生徒の教育環境の充実を考えた場合に、統合に舵を切るのはやむを得ないかなと考えていらっしゃるのかなと感じました。

続いて3ページですけれども、本当にこれまで、保護者への丁寧な説明ご苦労様でした。本当にタイトなスケジュールで保護者へ丁寧に説明するに当たって、大変だったと思います。この保護者の意見交換会における主な意見、生保内地区ですけれども、参加人数が少なかったのはちょっと残念です。この後住民への何かしらの説明をしていくに当たって、やっぱり私たちは子どもさんの教育環境をどうするかという視点を柱にしながら、議論を進めてきたわけですが。やはり住民を交えた、今後広い範囲での説明になってくると、どうしてもまちづくりの視点というものが絡んでくるので、ここに挙げられた生保内地区の2点の特筆意見というものがあるわけですが、これは、だしのこ園の一人の保護者か

らということでしたけれども、おそらくこの後、住民からは、このような意見が広く出てくるのかなと。生保内地区の方々の思いや考え、気持ちを考えると、このような思いを持っていらっしゃる方が、多数いらっしゃると思います。この意見を大事にしながら、今後どのようにこの意見を踏まえて、市長部局と連携を取っていくのかということを考えていかなければいけないのかなと感じた次第です。

それから、意見交換会ですけれども、これまで保護者や地域への説明、交換会等は進めてきたわけですが、同時にその資料については、学校へも配布しているわけですし、管理職も参加している学校もあったわけですので、説明されているわけです。やはり正式な形で進捗状況や今後の進め方について、しっかりと学校の先生方にも伝えておくことは必要なことだと思いますので、この機会が有り難いと思いました。以上です。

(橋本委員)

生徒の教育環境を考えた場合は、やはり4校統合のメリットが大きいということが、現場の先生方の意見でよく分かったと思います。その中で職員体制ですけれども、学級規模が少ないと、配置される専門の先生が少ないということもあるようですので、そういったところは保護者の方は知らない方もいると思いますので、何かの機会にお知らせした方がいいのかなと感じました。

それから統合の年度についてですけれども、令和11年度を選択している中で、子どもたちのワクワク感は新校舎の新しさから生まれるのではないかなという意見がありますけれども、私もそうでないかなと感じます。古い校舎を改修して、そちらの方に入って、また次の年に移るとするのは負担が大きいかなと思います。統合になった場合、生徒の皆さんが「素晴らしい」というような改修をしていただいて、一緒に移った方が良いかなと思います。

保護者意見交換会の主な意見の中で、西明寺の方から出ていますけれども、「統合中学校に進学しないで、角館中学校に生徒が流出しないか心配」という声がありますけれども、そのようなこともあるかも知れませんが、今まで説明をして進めてきたものですので、4校統合あるいは3校統合という形でこの後も進めていただきたいと思います。以上です。

(坂本教育長職務代理者)

今回も非常に丁寧な資料をありがとうございました。今までもいろいろ討論してきたわけですけれども、私はこの中学校の統合の時期について、11年度という意見が多いことが現れたなと思いました。神代小を改修してから落ち着いて入りたいというところ、何度も引っ越しを経験しなくても済むというところ等が、メリットではないかなと思います。そうすると、今の小学校3年生は、6年生で小学校が統合、中学校でまた統合となるわけですけれども、それも一つかなというふうに考えています。

先生方の意見から、「事務職員を各校配置して欲しい。」という要望があったようですが、やはりこれは当事者でなければ分からない意見だと思います。そういったところを大事に丁寧に今後検討していく必要があるかなと思いました。

また、桧木内で、「こども園の再編について」という意見も出ているようで、これも先程の事務職員と同じ当事者の意見だと思いますので、統合するということだけでなく、そこから発生する様々なことをこれから考えていかなければいけないと思いました。

(細川委員)

教職員の方々のご意見の取りまとめ、非常に分かりやすく大変ご難儀かけました。今回のこの意見交換の資料を見る限り、現場での生の声が集約されて大変良かったのではないかなと思います。今後更に、これが参考になればと思っております。統合の時期は、私もや

はり11年度の方が、せわしなく動くこともないのかなと思い、私も賛成しております。部活動に関しても、やはり単独チームになるということなので、子どもたちの意思疎通がしやすく、効率的に練習もできて、試合にも望めるのかなと思います。簡単ですが、私の意見です。

(須田教育長)

ありがとうございます。

それでは、その他で何かありますか。

(上野生涯学習課長補佐)

委員の皆様のお手元に、来月8月15日開催の「仙北市二十歳のつどい」についてのご案内をさせていただいておりますので、ご出席の方をよろしくお願いいたします。

(信田市民会館長兼田沢湖図書館長)

仙北市民会館から事業のお知らせということで、チラシを2枚配布させていただいております。日付順に説明させていただきます。まず1枚目「明治大学応援団成果発表会」こちら9月6日(土)に市民会館の方で行われます。こちらにつきましては、8月下旬から明治大学応援団の方々が田沢湖スポーツセンターの方で、合宿を行う予定となっております、その成果を市民の皆様に見ていただくという発表会となっております。整理券等は、8月19日(火)より、各市民センター・田沢湖図書館で配布予定となっております。

続きまして、まだ先ですが、ドラム・タオの公演が10月4日(土)仙北市民会館であります。こちらにつきましては有料の公演となっております、チケットは、予定で8月1日から、観光協会とブックイン105、ローソンチケットの方で発売予定となっております。どうかご鑑賞いただきますようよろしくお願いします。以上です。

(小松平福記念美術館長)

平福記念美術館からですが、現在開催しております「草薨裕写真展～水を掬ぶ」のギャラリートークを8月9日(土)午後2時から3時までの1時間、草薨裕さんをお迎えしてギャラリートークをしていただく予定となっておりますので、もし、お時間ありましたら、ご来場いただければと思います。以上です。

(大石教育総務課長)

8月の定例会についてですが、議会の関係で、8月20日(水)午後1時30分から協議会、午後2時30分から定例会を開催いたしますので、よろしくお願いします。以上です。

(伊藤学習資料館・イベント交流館長)

新潮社記念文学館出張ミニ展示を、田沢湖クニマス未来館で8月2日(土)から17日(日)まで開催いたします。是非ご覧ください。以上です。

(須田教育長)

よろしいでしょうか。

それではこれで、令和7年第12回仙北市教育委員会定例会を終了いたします。ありがとうございました。

(閉会宣言：午後2時35分)